

植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

第十八卷 第一號 (通卷第百八十五號) 昭和十七年一月發行

採 撫 餘 錄 (其十六)

久 内 清 孝

K. HISAUTI: Botanical Notes (XVI).

○針毛たびらこ (故大沼宏平氏所命)

むらさき科デアリナガラ黄色ノ花ヲ咲キ、全形うしのしたぐさニ似テ居ルモノガ各地ニ點在スル。余ハ、大正 13 年頃横濱、相州金澤及二ノ宮附近デ採ツテ居ル。牧野先生ニ依レバ (本誌 3 卷 p. 147) 故大沼宏平氏ガ、針毛たびらこト命名シタモノデ、學名ハ *Amsinckia intermedia* F. et MEY. ノ由デアル。本年、外來品ヲ一束檢討スルニ當リ、余ハ本品ニ就テモ觀察シテ見ルノ機會ヲ得タ。*Amsinckia* 屬ニハ約 39 種程知ラレテ居リ、JOHNSTON ガ Contribution of the Gray Herbarium LXXVIII (1927) ニ南米ノ紫草科ヲ檢討サレタ中ニ、相當詳シク取扱ツテ居リ、マタ A. BRAND モ Pflanzenreich IV-252, p. 204 (1931) デ、本屬ノ全部ニ亙ツテ檢討シテ居ル。本屬デ日本ニ標本ノアルモノハ *A. intermedia* F. et MEY. ト *A. hispida* JOHNSTON ト、ソレカラ *A. lycopsoides* LEHM. 丈デアル。而シテ此最後ノモノガ一番針毛たびらこニ似テ居テ、*A. intermedia* トハ少シ縁ガ遠イラシイ (果實ガ異ル)。尙ヨク之ヲ日本デ發見サレタモノト詳細對比スルニ、日本ニ來テ居ルモノハ、萼片ノ若干ガ互ニ癒著シテ居ルノニ反シ、*A. lycopsoides* ニ於テハ、明白ニ完全ニ分離シテ居ル點ガ甚ダ違ツテ居ル。之ヲ前記 BRAND 氏ノ方式デ檢索シテ行クト *Amsinckia tessellata* A. GRAY ニナル。依テ、余ハ之ヲ針毛たびらこノ學名トシタイト思フ。本品ハ、余ノ標本デハ高さ約 40 cm 内外デ、基部ヨリ分枝シ、全株むらさき科特有ノ剛毛デ覆ハレ、葉ハ長イ橢圓狀披針形デ、下部ノモノハ長ク上部ノモノハ短イ。一側假軸性ノ無限花序ハ 30 cm ニモ達シ、勿論尖端ガ渦狀デ、花ハ通常托葉ヲ缺ク。花梗ハ 1 mm 位、萼片ハ通常 5 個ナルモ、2 個ヅ、相互ニ癒著スル結果獨立シタ

萼片ハ1枚ニ過ギナイ。萼片ハ長サ8-9 mm、大體披針形デ鈍頭、外面剛毛ヲ生ジ、内面ニハ長毛ガアル。花冠ハ橙黄色デ、長サ8-9 mm 萼ヨリ僅ニ超出スルガ、花後ハ相當長ク延ビル、之離脱シタモノガ、萼内ニ殘留スル爲メデアル。雄藥ハ約5 mm 雌藥モ約5 mm デ、花柱ニハ微毛ガ直角ニ生エテ居ルガ、此點ヲ多クノ著者ハ記録シテ居ナイ (*A. lycopsoides* デハ無毛デアル)。果實ハ4個出來ル筈デアルガ、實際ハ2-3個シカ發育シナイ。果實ハ、ヤ、三稜形デ、内側ノ中央部ノ下部デ附著シテ居リ、背側ノ中央ニ縱ニ微ニ稜ガアリ、此ノ稜ノ兩側ニハ横ニ皺ガアルガ内側ハ殆ンド平坦デアル。

以上ノ通り述ベテ見タモノハ、日本デコンナ特別ナ屬ノモノヲ檢定スル事ハ相當ナ困難ガ伴フノデ、果シテ正當ナ判斷ヲナシ得タルヤ否ヤ疑ハザルヲ得ナイガ、一應以上ノ様ニ扱ツテ置ク。此類ニ關スル限り、圖ガ少ク日本ニアル文献デ圖ヲ載セテアルモノハ極メテ少イ様デアル。

○むじなおほぼこ横濱デ發見サル

東京港税關ニ勤務スル松本賢吉氏ノ採集品ニ依ルト氏ハ横濱税關構内デ之ヲ採ツテ居ル (30 VIII 1934)。何レ隣邦滿洲帝國カラ來タモノデアラウ。尤本種ハ朝鮮ニモアルカラ、或ハ朝鮮カラ來タモノカモ知レナイガ、交通ノ便宜カラ云フト前者トモ考ヘラレル。概形ハ花穂ノ頂端部ヲ測ツテ高サ約10 cm デ葉ノ兩面ニ多細胞毛ガアル。其毛ハ非常ニ多イノモアルガ、松本氏ノハ餘リ多クハナイ。葉ノ邊緣ニハ、微ニ波狀齒モ認メラレル。盒狀ノ蒴ニハ黒子ガ4個藏サレ、おほぼこノヨリハ少サイ。全體ノ感ジハおほぼこノ様ニモ見エルガ、葉ノ形狀モ異リ且ツ上記ノ様ニ區別ガ出來ル。多年生ノモノデ、根ハ地下デ分岐シ標本デハ黒色デアル。尙松本氏ノ採品ハ、本品トシテハ中形ノモノデアル。現在デハ、本種ガ邦内ニ産スルヲ聞カナイ。學名ハ *Plantago depressa* WILLD. デ、其内デ若干ノ品種ニ區別サレテ居ル。分布區域ハ KOMAROV 氏ニ依レバダフリヤ、アルタイ、直隸・山東兩省、滿洲、朝鮮ノ由。サテ、此處デハ本品モ外來品トシテ扱フケレ共、秋田縣ノ八郎瀉沿岸カラ、別ノ名デ呼バレテ居ルモノニ本品ニ極メテ類似シテ居ルモノガアリ、私ハ之ヲ同一物ト考ヘル。

○しらげはゝきゞ (北川政夫氏所命)

神戸税關構内デ、松本賢吉氏ガ採集シタ一種ノはゝきゞガアル。普通ニ栽培サレテ居ルはゝきゞニ似テ居ルガ、非常ニ多毛デアル、即チ莖ニハ綿毛ガ生エテ居リ葉ノ邊緣ニハ長イ睫毛ガアル。之ヲ滿洲産ノモノニ比スレバ、草狀ガ少シ異ルガ、之ハ濕氣多イ内地デ發芽シタ爲デアラウ。ソナ次第デ、之ヲ斯ク

斷定シテ見タ。タバー一本ノ標本ノ上デノ事デアルカラ、無理モアルカモ知レナイガ致方ナイ。實ハ、之ヲ決スルニ當リ他ニ見タイモノガ、濠洲邊ニアルガ、日本ニハ濠洲ノ標本ガ無イノデ、止ムヲ得ナイ。先ニ草狀ガ異ルト云ツタノハ茲ニ紹介スルモノハ莖ヤ枝ガ、標準品ニ比シ細ク、枝ノ擴ガリガ充分デナイ事デアル、シカシ今ノ處、他ニ類似品ガナイカラ多少ノ疑ヲ殘シ斯克決定シテオク。

○つぼみおぼこ

本誌 17 卷 11 號ニ報ジテ置イタ産地ノ外、宇井縫藏氏ガ攝津國神津村ニ於テ本品ヲ採集 (1 V, 1934) サレテ居ル事ヲ追加スル。

○訂正 本誌 17 卷 10 號 p. 600 デまめかみつれナルモノヲ公表シテ置イタガ其後科學博物館カラ曾テ東京上野デ發見サレタ *Cotula microcephala* DC. ひめかみつれナル腊葉ガ出テ來タ。此兩者ハ同一物デハナイガ後者ハ既ニ東京帝室博物館天産課日本植物乾腊標本目錄及ビ植物總覽補遺ニ出テ居ルノデ其和名ノ方ハ有效ニナルケレ共學名ハ *C. microcephala* モ私ガ記シタ學名モ双方共當ラナイノミナラズ、其結果又別ノ問題モ發生シタノデ之等ヲ一括シテ其解決方ヲ原寛博士ニ依頼シタ結果同氏ノ努力ニヨリ別項ノ通り其解決ヲ見タ。從ツテ余ノまめかみつれノ記事中ノ學名ヲ取消シ責任ノ所在ヲ明カニスル。尙昨年 10 月 16 日東京芝浦ニアル横濱稅關東京出張所植物検査官松本賢吉氏ニ依リ東京芝浦ニ前者ガ存在スル事ガ明カニナリ又既ニ紀伊半島デ採集サレタモノモアル事ガ判明シタ。

○まめかみつれトしまとぎんきり (原 寛)

久内清孝氏カラまめかみつれ類ノ學名ガ混亂シテキルラシイトノ御話ガアツタノデ少シ調べテミタ結果次ノ様ナ事ガ分ツタ。

我國ニ歸化シテキルまめかみつれハ オーストラリア、ニューギランド 原産ノ *Cotula australis* (SIEBER) HOOK. f. ト考ヘル。アフリカ、南歐 原産ノ *C. anthemoides* L. ニモ似テキルガ、葉ハ二回羽裂シ、花梗ハ長ク、雌花ハ花冠ヲ有セズ、外側ノ雌花ノ小花梗ハ特ニ著シク長ク、瘦果ノ翼ハ狭イノデ區別サレル。*C. anthemoides* ハ古クハ POIRET in LAMARCK, Ill. III, pl. 700, fig. 3 (1823) ニ圖ガアリ、又東大腊葉室ニハ幸ヒエジプト、カイロ近クノナイル河畔デ採集サレタ標本ガアルノデ充分比較スル事ガデキタ (挿圖参照)。*C. microcephala* DC. ナルモノハコノ *C. anthemoides* ノ毛ノ少イ型トサレテキルノデコレモ別物デアル。*C. australis* ヲ LESSING ヤ DC. ガ *Strongylospermum australe* トシテ記載シタ際ニハ雌花ハ舌狀花冠ヲ有スル様ニ書イテキルガコレハ誤デアリ、BENTHAM ハ Fl. Austral. デ濠洲産ノモノハ全部花冠ヲ缺キ、SIEBER 採集ノ Isotype デモ花冠ガナイ